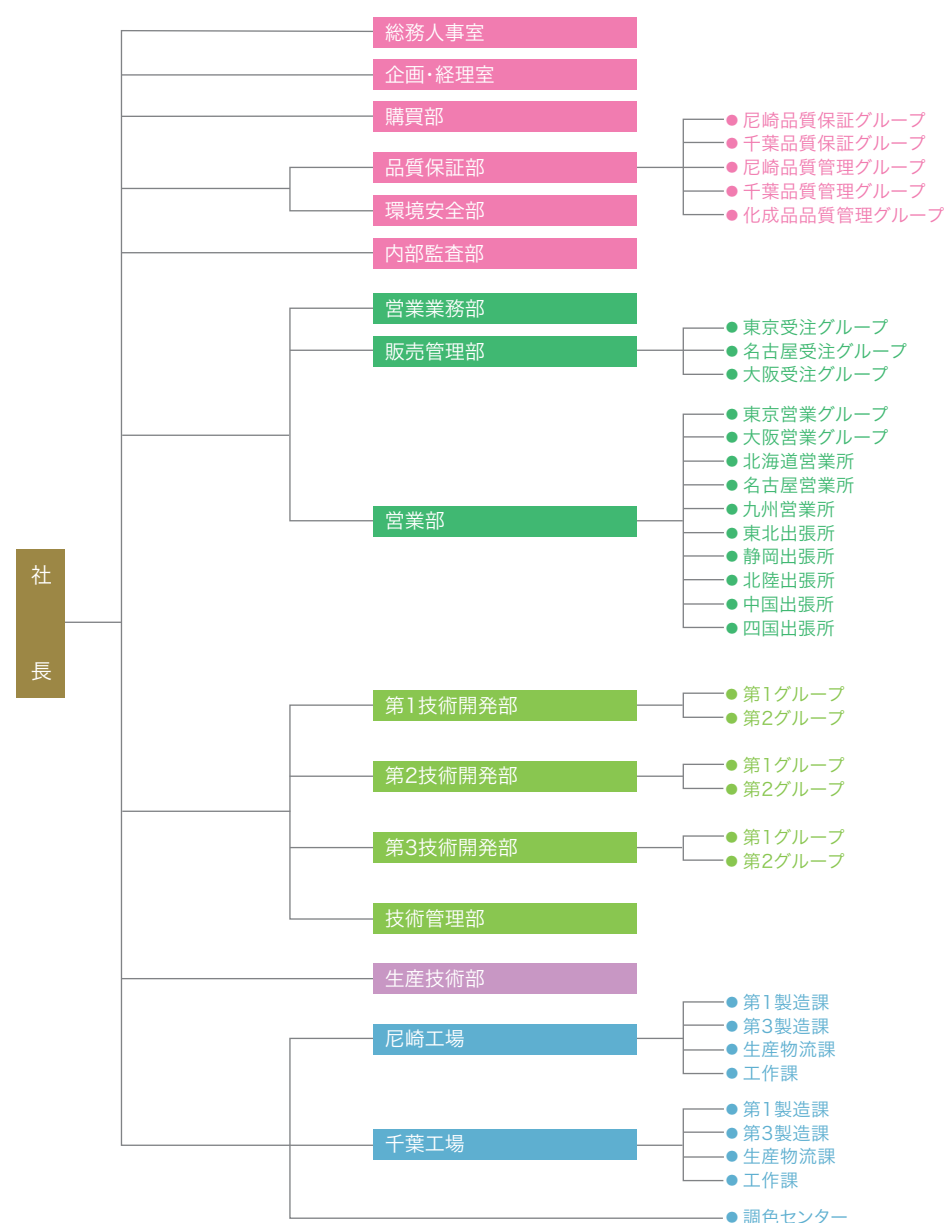


商号	神東塗料株式会社
本社	尼崎市南塚口町六丁目10番73号
設立	1933年4月17日
資本金	24億4,931万円
代表者	代表取締役社長 小坂 伊知郎
従業員(連結)	399名(2026年3月31日現在)
決算期	3月末日

事業内容
・次の製品の設計、製造、加工、販売、輸出、輸入
■電着塗料
■粉体塗料
■工業用塗料
■軌道用材料
■建築用塗料
■防食用塗料
■道路施設用塗料
・次の製品の受託生産
■化成品(防疫薬剤、工業用殺菌剤など)

組織図



(注)1 地域的共通業務を遂行するため、上記組織とは別に、以下の地域に事業所を設ける。
(1) 千葉：千葉事業所 (2) 名古屋：名古屋事業所 (3) 尼崎：尼崎事業所



代表取締役 社長執行役員

小坂 伊知郎

近年、持続可能な社会の実現に向けた取り組みが世界的に加速する中、塗料業界に求められる役割や責任もますます大きくなっています。当社は、「塗料事業を通じて社会の発展に貢献します」を企業理念に掲げています。この企業理念が目指す方向は、SDGsが掲げる持続可能な社会の実現と方向性を共有するものであり、企業理念の実践を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

持続可能な社会の実現に貢献するため、当社では、製品のライフサイクル全体を通じて環境負荷の低減に取り組むことを基本方針とし、原料の選定・調達から製造、輸送、お客様による使用に至るまで、環境に配慮した取り組みを推進しています。具体的には、環境負荷の低減に寄与する環境配慮塗料の開発や産業廃棄物の削減に取り組むほか、カーボンニュートラルの実現に向けたさまざまな施策を推進しています。

2025年度の塗料販売量に占める環境配慮塗料の比率は、当社の当面の目標である84%を超え、業界でもトップクラスの水準を維持しています。今後も、製品の高機能化を通じて、水系塗料や粉体塗料などVOC排出量の削減に寄与する塗料の開発に加え、焼き付け温度の低温化や速乾化など、塗装工程における省エネルギー化や工程短縮に貢献する環境配慮塗料の開発にも引き続き注力してまいります。

次に、職場の安全確保についてです。安全の確保は、事業継続における最重要課題の一つと位置づけ、引き続き積極的に取り組んでいます。労働災害の撲滅に向け、従業員教育を推進するとともに、作業ルール・手順・基準の見直しと最適化を進め、その確実な遵守を徹底しています。また、危険予知(KY)活動やヒヤリハット活動、各種訓練の充実・強化にも取り組んでいます。今後も、安全を最優先とする意識を全従業員で共有し、労働災害ゼロを目指して、安全活動のさらなる充実に努めてまいります。

さらに、社員が安心して働き、能力を十分に発揮するためには、健康の維持・増進や職場環境の改善・向上が重要です。特に、作業現場における夏場の熱中症対策については万全を期すとともに、主な製造建屋へのセントラル空調式スポットクーラーの設置を推進しています。

職場の安全確保、環境保全、防災対策の根幹は、コンプライアンスの徹底にあります。法令を遵守し、企業としての責任を果たすことが、社会からの信頼と事業の持続につながると認識しています。今後もコンプライアンスを最優先の経営課題の一つとして、取り組みの継続的な見直しと強化に努めてまいります。

最後に、当社は大日本塗料(株)との連携を一層深め、グループとしての知見や技術を活かしながら、当社の環境・安全活動のさらなる向上を図ってまいります。また、事業提携によるシナジーを継続的に創出すべく、全社一丸となって取り組みを推進してまいります。

本年も、当社の環境・安全に関する取り組みをまとめた「環境・安全報告書2026」をお届けいたします。本報告書を通じて、当社の環境・安全に対する考え方や取り組みについて、ステークホルダーの皆様にご理解いただくとともに、皆様との対話を深める一助となれば幸いです。引き続き、皆様のご指導とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2026年9月

1933年4月7日の創業以来、神東塗料は「塗料事業を通じて社会の発展に貢献したい」という強い思いを胸に、堅実と誠実を第一に今まで歩んでまいりました。その思いは、今後も変わることはありません。

先人が築き上げてきた道を未来につなげ、「豊かで快適な生活」のために――
神東塗料は今後も皆さまと一緒に歩んでまいります。

社章に秘めた思い

創立当初、神東塗料はウロコ印の商標を使用していました。1970年10月、現在の新しい社章が制定されました。神東の社章はshintoの頭文字S（小文字の筆記体）を図案化したもので、その三角形に近いデザインには、神東の創業精神である“三和の精神”“真善美三位一体の精神”が込められています。



創立時の社章

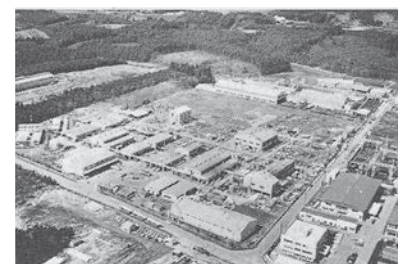


現社章



千葉工場操業開始

神東塗料の新たな東の拠点として千葉工場を建設。



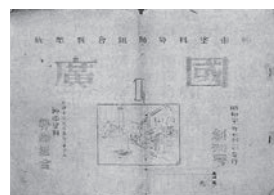
当社母体神戸ボイル油創業

神戸ボイル油の初代社長・大西米太郎は現在の兵庫県加東市生まれ。もとは呉服商を営んでいましたが、ひそかに自宅の煮釜でボイル油の研究を始め、苦心の末、1901年に個人経営の「神戸ボイル油製造所」をつくり上げました。その後、1910年に数氏の出資を得て株式会社に改組しました。



労働組合結成

1946年4月神東塗料に労働組合が結成されました。



1965年
(昭和40年)

東京工場復興

1948年3月、ワニス工場とボイル油工場に火入れが行われ、東京工場は東京大空襲からの復興を成し遂げました。



1948年
(昭和23年)

住友化学工業株式会社(現 住友化学株式会社)と資本・技術の提携

神東塗料創立

1933年、神戸ボイル油と東洋塗料製造が合併して神東塗料が創立されました。

1940年
(昭和15年)

1946年
(昭和21年)

1948年
(昭和23年)

1933年
(昭和8年)

1901年
(明治34年)

タイ・TOA社と合併会社SHINTO TOA VIETNAMを設立

インドネシアに販売会社、
PT.Shinto Paint Indonesiaを設立
中国に販売会社、神之東塗料貿易(上海)有限公司を設立

大日本塗料株式会社の連結子会社となる

2025年
(令和7年)

2020年
(令和2年)

東京オフィスを設立

2016年
(平成28年)

2013年
(平成25年)

2012年
(平成24年)

全社でISO14001認証登録

全社でISO9001拡大認証登録

インドネシアに生産子会社、
PT.Shinto Paint Manufacturing Indonesiaを設立



2001年
(平成13年)

2000年
(平成12年)

塗料販売会社、株式会社九州シントーを設立

1996年
(平成8年)

1997年
(平成9年)

マレーシア・EXTRA社と合併会社SHINTRIAを設立

ドイツ・HERBERTS社と合併会社神東ハーバーツ・
オートモティブ・システムズ株式会社
(現 神東アクサルタ コーティング システムズ株式会社)を設立

フィリピン・WELBEST社と合併会社SHINTO-WELBESTを設立

江東区新木場に新東京事業所開設

タイ・TOA社と合併会社TOA-SHINTO (THAILAND) を設立

台湾神東化学股份有限公司
(現 神東艾仕得塗料系統股份有限公司)を設立

塗料販売会社、株式会社北海道シントーを設立

1982年
(昭和57年)

1985年
(昭和60年)

1988年
(昭和63年)

1989年
(平成元年)

1991年
(平成3年)

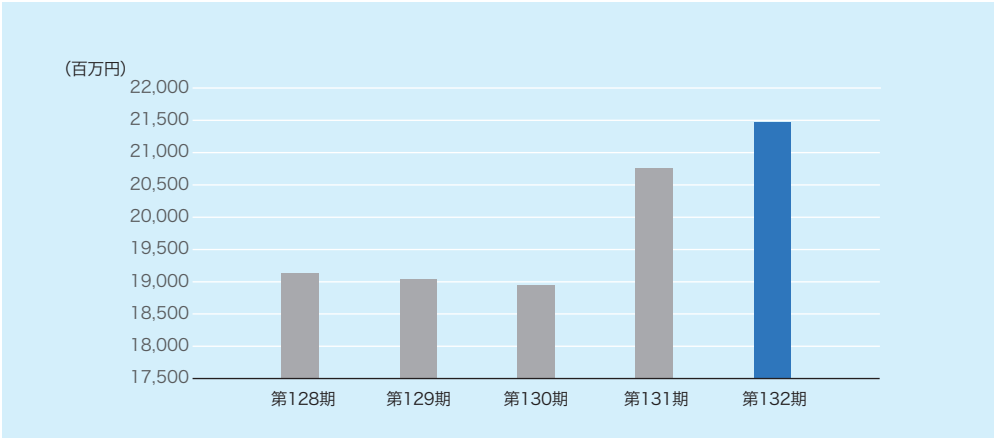
TQC導入

生産部門中心の品質管理から社全体での総合的品質管理に舵を切るべく、1981年からTQC(トータル・クオリティー・コントロール)の検討を開始。役員・部長クラスが集まって勉強会と協議を重ね、1982年7月、TQCが導入されました。

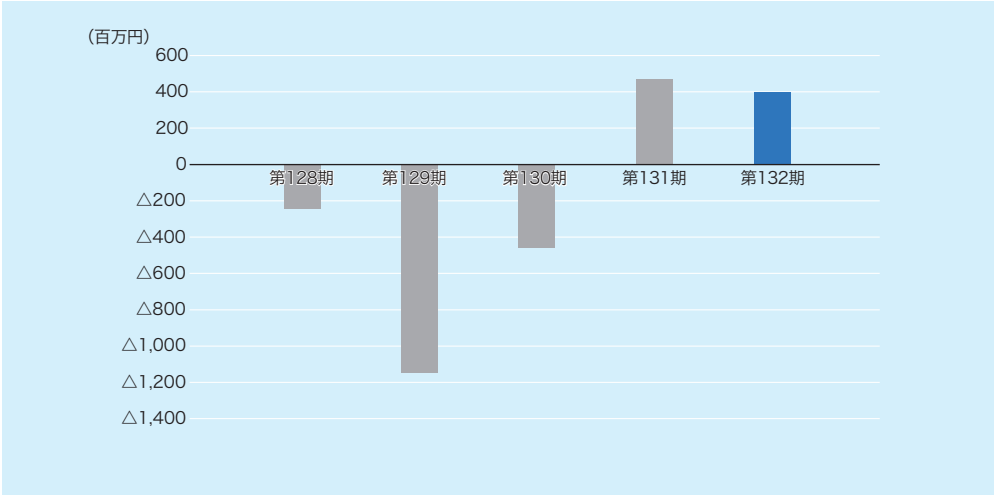
損益及び純資産の状況(連結)

区 分	第125期 2019年3月期	第126期 2020年3月期	第127期 2021年3月期	第128期 2022年3月期	第129期 2023年3月期	第130期 2024年3月期	第131期 2025年3月期	第132期 2026年3月期
売上高(百万円)	22,117	22,538	20,193	19,136	19,038	18,954	20,758	21,481
経常利益・損失(△) (百万円)	681	759	167	△243	△1,146	△460	471	393
親会社株主に帰属する 当期純利益・ 純損失(△)(百万円)	△324	528	679	△1,825	△1,806	△497	△59	△593
1株当たり当期純利益・ 純損失(△)(円)	△10.47	17.06	21.93	△58.95	△58.33	△16.05	△1.92	△17.44
純資産(百万円)	17,109	17,514	18,091	16,166	14,386	14,207	14,617	14,229
1株あたり純資産(円)	528	540	557	494	436	429	399.6	384.8

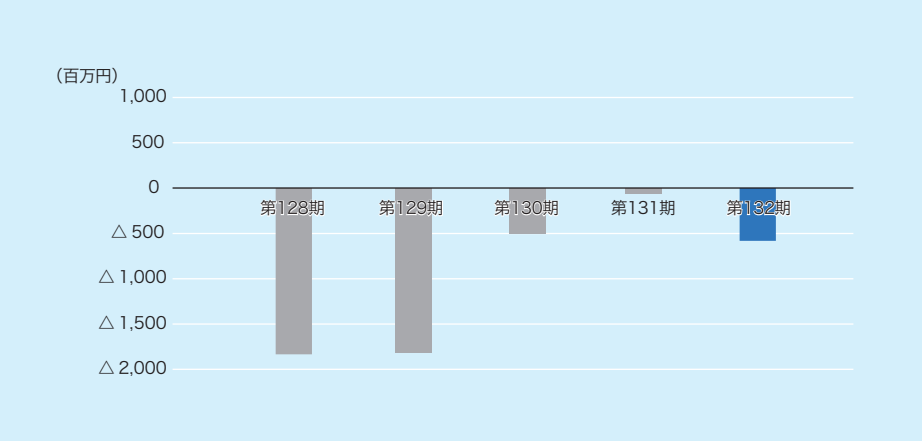
売上高



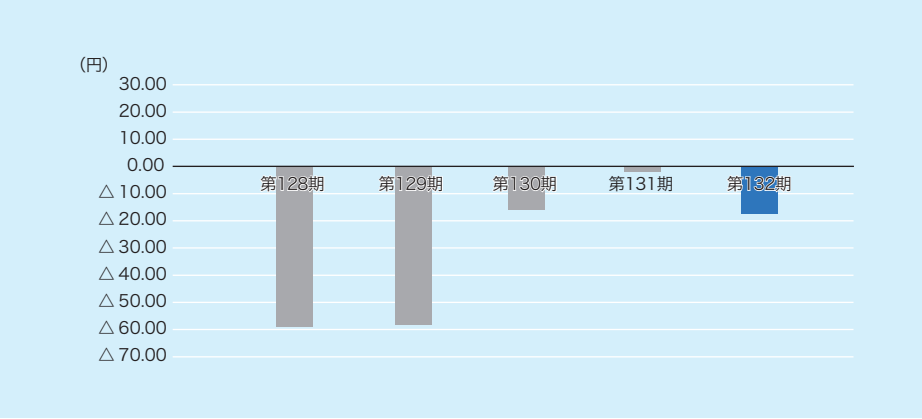
経常利益・損失 (△)



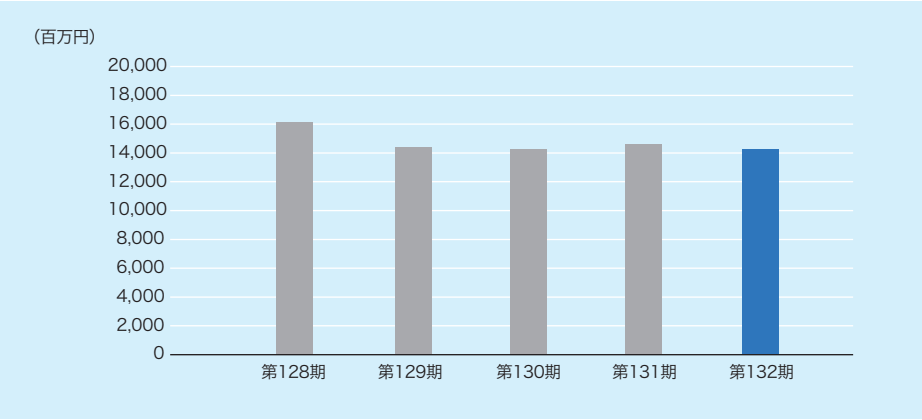
親会社株主に帰属する当期純利益・純損失 (△)



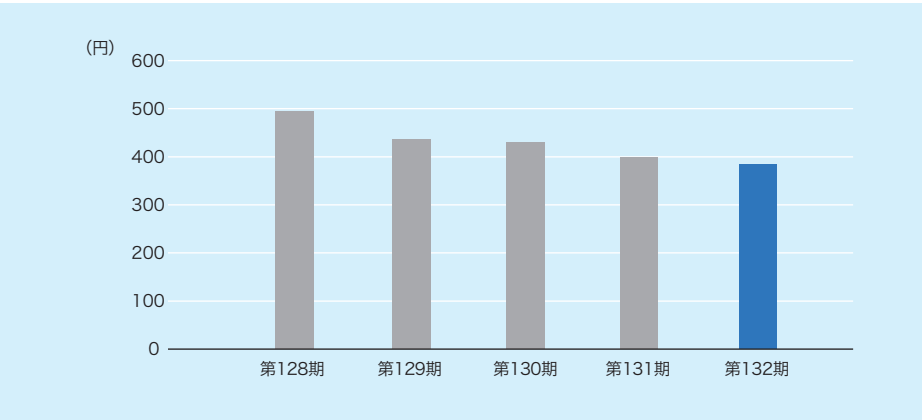
1株当たり当期純利益・純損失 (△)



純資産



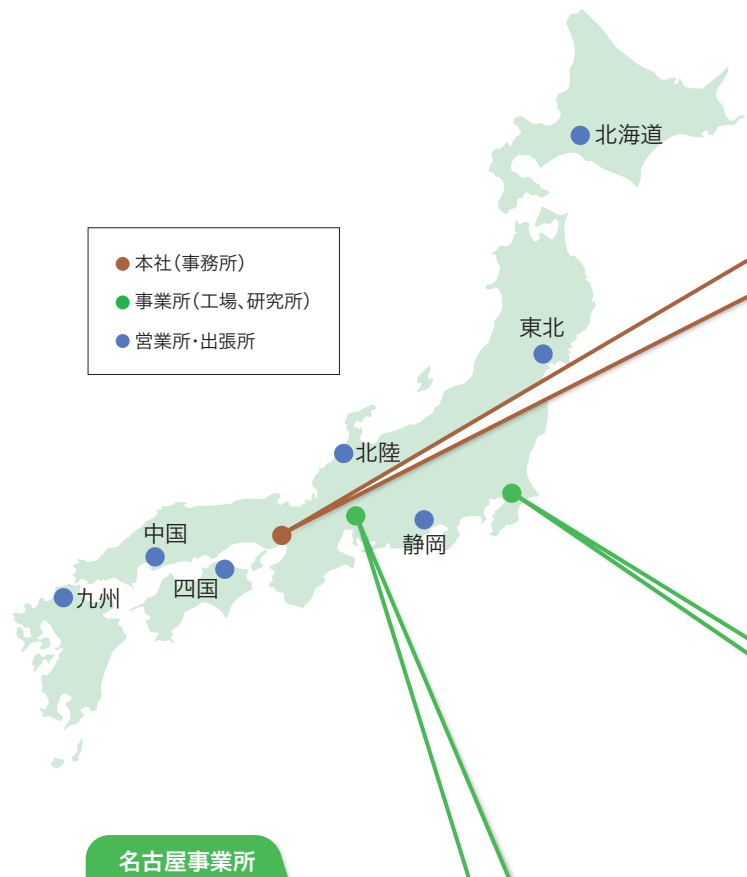
1株あたり純資産



国内

当社は、国内に3つの事業所があります。

事業所ごとに「安全衛生管理指針」を掲げ、労働安全衛生、環境保全、保安防災について方針を定め、事業活動しています。



尼崎事業所



尼崎事業所長
中谷 昌幸

当事業所は、1940年に創業を開始し、本社(管理部門)、技術、営業、そして生産の各部門で構成されています。名神高速道路・尼崎インターのすぐ北側に位置し、周囲を住宅地域に囲まれた立地となっており、周辺地域への環境対応(騒音・臭気対策)については細心の注意を払いつつ、安全確保を最優先に安定操業に努めています。2002年にISO14001の認証を取得、2006年には尼崎市と「環境保全協定」を締結いたしました。また2021年7月より当事業所の一部の電力について「再生可能エネルギー100%電力」の購入を開始し、2024年6月には太陽光発電設備を設置する等、カーボンニュートラルへの取り組みにも注力しています。今後も「町内行事への協賛」や「事業所 周辺の清掃」、「騒音を伴う当事業所内工事の事前案内」等、地域とのコミュニケーション向上、周辺環境への配慮にも努めてまいります。

海外

当社の海外技術提携の歴史は長く、1961年にオーストリア・ピアノバ社との技術提携を結んだことに始まります。

その後も世界各国の塗料メーカーと技術提携や合併会社設立を進め、2013年にはインドネシアに自社工場を設立し、2016年にはベトナムに販売および技術サービス供給会社を設立しました。

国内のみならず海外においても高い品質管理のもと、お客様の要求に的確に応え製品の安定供給を実現してまいります。



TST



Managing Director
徳田 武雄

TOA-Shinto Thailand (TST) は、神東塗料とタイ最大手の塗料会社TOA Paint(Thailand)PublicのJV会社として1989年12月に設立しました。主要なビジネスは、自動車用・建築資材用の電着塗料の製造・販売と技術フォローサービスです。

今年は自動車産業の顧客に対して自社の製品やサービスの更なる信頼性を保証するために「IATF16949」の認証取得を目指します。

タイ政府のグリーン産業推進の施策「Green Industry Project」に弊社も環境マネジメントや循環経済システムを通じた工場の持続可能性を推進するために積極的に携わっていきます。

その一環として工場の屋根にソーラーパネルを設置する予定です。

今後も、変化していくビジネス環境・市場ニーズと神東塗料の技術力のベストマッチングを実践し、環境にやさしい塗料の製造と販売を通じ、タイの経済発展と環境保全に努めてまいります。

名古屋事業所



名古屋事業所長
熊野 弘美

名古屋事業所は、神東塗料の中部・東海地域における重要拠点として、営業・技術支援・サービス供給の核となる役割を担っています。環境配慮型製品の展開および安全衛生の推進を通じて、地域社会および顧客ニーズに応え、信頼される企業づくりに貢献しています。また、当事業所では環境安全衛生方針に基づき、法令遵守の徹底はもとより、リスクアセスメントの継続的な実施を通じて労働災害の未然防止に取り組んでいます。加えて、省エネルギー活動の推進や産業廃棄物の適正管理・削減に努め、環境負荷の低減を図っています。

今後も従業員一人ひとりの安全意識向上と教育の充実を図り、地域社会と共生する持続可能な事業所運営を推進してまいります。

千葉事業所



千葉事業所長
遠藤 聡

千葉事業所は、1965年に操業を開始し、地域社会との共存を大切にしなが、環境保全活動と安全・安定操業に取り組んでいます。昨今の異常気象による自然災害リスクの高まりを踏まえ、BCP強化にも注力しており、2023年に導入した太陽光発電設備は、CO2排出量削減に加え、災害時の電源確保にも活用しています。

2026年度も、省エネ活動、廃棄物削減、安全活動を推進し、環境負荷低減と持続可能な事業運営の両立に努めてまいります。

STV



General Director
石田 豊

SHINTO TOA VIETNAM (STV) は、神東塗料とタイの最大手塗料会社TOA PaintグループとのJV会社としてドンナイ省にあるロンドウック工業団地内に2016年に設立されました。

当社の主な機能としまして、①各種塗料の輸入及び販売②当地におけるお客様へのテクニカルサービスの供給③当地における市場調査及び新規顧客の開発等を行うべく活動しております。

STVは無事故、無災害を目標として、今後も、更なる事業拡大を目指すと共に、従業員一同、法令を順守し、神東塗料グループの一員としてベトナムでの地球環境に優しい塗料の供給に努めてまいります。

SMI



President Director
中坊 貴政

PT.Shinto Paint Manufacturing Indonesia (SMI) はジャカルタ東方37kmに位置するブカシ県チラン市のデルタマス工業団地(通称GIIC)にあり、2015年6月から操業しています。SMIは樹脂の製造及び自動車用2液型電着塗料を製造しています。また、同事業所内にはPT.Shinto Paint Indonesia (SPI) 技術部も常駐し、弊社主力製品の改良開発と技術サービスを行っています。営業と購買部門はジャカルタ市内のSPI本社にて業務を行っています。

SMIは創業以来、無事故・無災害ゼロを継続しています。2026年度も「安定した品質でお客様へ供給」「安心・安全な職場づくり」「地域社会活動・コミュニケーション強化」を引き続き目標に挙げ、全従業員で取り組んで参ります。